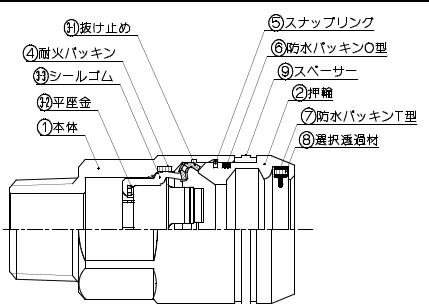
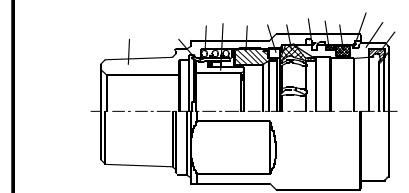
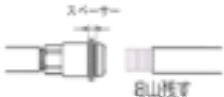


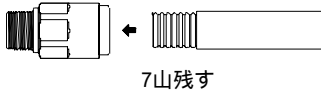
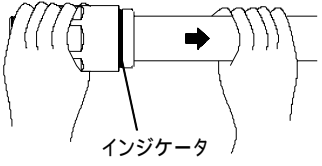


液化石油ガス設備施工マニュアル（第3次改訂版） 追 補（最新版）

平成 22 年 09 月

新タイプのフレキ管継手の発売に伴い修正するもの。

頁	行など	修正する語または文章など（誤）	修正後の語または文章など（正）																				
117	上から9行目	新タイプの管継手は、ナットの締付作業を不要とした構造で、ワンプッシュ式、ワンタッチ式の <u>2種類</u> のものがある。	新タイプの管継手は、ナットの締付作業を不要とした構造で、ワンプッシュ式、ワンタッチ式、 <u>谷シール式、スプリング内蔵式</u> のものがある。																				
117	図 .8 配管用フレキ管継手の構造例に図（谷シール式及びスプリング内蔵式）を追加	<div style="text-align: center;"> <p>谷シール式</p> <p>機械的接合（簡易挿入型・漏れ発見機能付）</p>  </div>	<div style="text-align: center;"> <p>スプリング内蔵式</p> <p>機械的接合（簡易挿入型・漏れ発見機能付）</p>  <p>本体 ナット パッキン リテーナ スプリング スプリングガイド 移動片 耐火パッキン ストップリング 水密パッキン 水密リング 通気性樹脂 インジケータ</p> </div>																				
123	表 V.5	<p>表 V.5 はくり山数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>継手の種類</th> <th>はくり山数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ワンプッシュ式</td> <td>7 山</td> </tr> <tr> <td>ワンタッチ式</td> <td>6 山</td> </tr> <tr> <td>セミワンタッチ式</td> <td>4 山</td> </tr> </tbody> </table>	継手の種類	はくり山数	ワンプッシュ式	7 山	ワンタッチ式	6 山	セミワンタッチ式	4 山	<p>表 V.5 はくり山数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>継手の種類</th> <th>はくり山数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ワンプッシュ式</td> <td>7 山</td> </tr> <tr> <td>ワンタッチ式</td> <td>6 山</td> </tr> <tr> <td><u>谷シール式</u></td> <td><u>8 山</u></td> </tr> <tr> <td><u>スプリング内蔵式</u></td> <td><u>7 山</u> <u>(6 山も可)</u></td> </tr> <tr> <td>セミワンタッチ式</td> <td>4 山</td> </tr> </tbody> </table>	継手の種類	はくり山数	ワンプッシュ式	7 山	ワンタッチ式	6 山	<u>谷シール式</u>	<u>8 山</u>	<u>スプリング内蔵式</u>	<u>7 山</u> <u>(6 山も可)</u>	セミワンタッチ式	4 山
継手の種類	はくり山数																						
ワンプッシュ式	7 山																						
ワンタッチ式	6 山																						
セミワンタッチ式	4 山																						
継手の種類	はくり山数																						
ワンプッシュ式	7 山																						
ワンタッチ式	6 山																						
<u>谷シール式</u>	<u>8 山</u>																						
<u>スプリング内蔵式</u>	<u>7 山</u> <u>(6 山も可)</u>																						
セミワンタッチ式	4 山																						

頁	行など	修正する語または文章など（誤）	修正後の語または文章など（正）
125	(2)ワンタッチ式（タイプ2）の後に谷シール式（タイプ3）及びスプリング内蔵式（タイプ4）を追加	<p>(3)谷シール式（タイプ3）</p> <p>8山はりのフレキ管を継手奥に当たるまで挿入する</p>  <p>スペーサーを外し、押輪が本体に当たるまで押し込む（押輪着色部が見えないこと）</p>  <p>フレキ管を引張り、押輪が抜けないことを確認する</p> 	<p>(4)スプリング内蔵式（タイプ4）</p> <p>配管用フレキ管の被覆が7山剥離された管を継手奥に突き当たるまで挿入する。フレキ管が継手奥に突き当たるときに音または感触によりフレキ管が挿入されたことが確認できる。（マーキング不要）</p>  <p>フレキ管を真っすぐ引張り抜けないこと及びインジケータが出てくることを確認する。</p> 
		(3)セミワンタッチ式（従来タイプ）（略）	(5)セミワンタッチ式（従来タイプ）（略）